

政策	65 多様な地域間交流の充実						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	余地有	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民全般						
施策が目指す姿	国内自治体との様々な連携強化が図られるとともに、グローバル時代に対応した人材育成等に資する国際交流が展開されている。地域間における市民・団体等の交流の推進により栃木市の一体感の醸成が図られている。						
成果指標	地域間や国内外の人との交流が増えていると感じる市民の割合...5年間で35.0%（現状値28.5%） 国際交流協会会員数...5年間で480人（現状値432人）						
目標達成状況		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標1 [%]	予定				35.00	
		実績					
	成果指標2 [人]	予定	432.00	450.00	460.00	470.00	480.00
		実績	443.00	359.00			
	成果指標3 []	予定					
		実績					
	成果指標4 []	予定					
実績							
トータルコスト (千円)	予定	32,280	33,175	39,521	0	0	
	実績	35,086	30,165	39,521	0	0	
内部評価	貢献度	基本方針が目指す地域交流の活発化やいきいきと賑わいのあるまちづくりを進めるうえで、本基本施策の目標達成は大きく貢献するものである。					
	達成状況	下位単位施策及び各事務事業は、概ね順調に推移しているものとする。					
	課題	国際交流イベントは情報発信方法の工夫が必要である。また、定着しつつある全市的イベントがある一方で、各地域のイベントは目的などを再検証する必要がある。					
	取組方針	関係団体等との連携強化を図り、有効な情報発信に努める。また、イベントの統合、再編について、関係団体と方向性を検討する。					
外部評価	コロナ禍の状況や災害発生時などの非常事態時に、安心できる情報を発信し支援することは重要であることから、市内在住の外国人の方に分かりやすい情報の発信を積極的に行っていたきたい。 コロナ禍の状況では、イベント等の人の集まる交流は難しいので、ITを使っての情報発信や、オンラインイベント等で成果指標が達成できるよう取り組んでいただきたい。 外国の祭りや食事などにより、その国を知ること面白いと思うので、年ごとに国を変えての異文化交流など、市民が外国の文化などを知る機会の提供を検討してほしい。						
基本施策達成のための単位施策	施策コード	名 称			トータルコスト(千円)	達成度	
	6501	国内・国際交流の推進			30,165	13	
	6502	全市的交流イベント開催の推進			0	10	

基本施策評価表 補表

施策	65 多様な地域間交流の充実		
区分	妥当性	妥当	実施主体、実施方法ともに妥当である。
	コスト削減の余地	有	イベント事業の実施方法の工夫により、コストを削減する余地があると思われる。
	受益者負担	適正	現行の事業執行においては、適正と思われる。
	上位貢献度	有効	基本方針が目指す、いきいきと働き賑わいのあるまちづくりの達成には、多様な地域間交流の充実を推進する本基本施策の貢献度は高い。
	類似事業の有無	無	基本方針を達成するうえで、多様な地域間交流を推進することは、他に類似する施策は見当たらない。
	成果向上の余地	有	今後も各事務事業実施において、実施方法を工夫することで成果が向上する余地が見込まれる。
内部評価	貢献度	基本方針が目指す、地域交流の活発化やいきいきと賑わいのあるまちづくりを進めるうえで、本基本施策における、多様な地域間交流の充実の目標達成は大きく貢献するものである。	
	達成状況	国際交流協会の会員数について、減少傾向がみられる。 下位単位施策及び各事務事業は、台風災害や新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものを除くと、概ね順調に推移しているものと考えられる。	
	課題	国際交流イベントは、より多くの外国人住民の方に参加してもらえるように、情報発信方法の工夫が必要である。 国際交流協会会員数が減少しており、情報発信や周知の機会が少なくなっている。 また、定着しつつある全市的イベントがある一方で、各地域のイベントは、目的などを再検証する必要がある。	
	取組方針	関係団体等との連携強化を図り、有効な情報発信に努める。また、イベントの統合、再編について、関係団体と方向性を検討するとともに、新型コロナウイルス感染症と共生・共存していく新しい生活様式を取り入れた開催について検討する。	